

ユーザーマニュアル

BPZ400i Series



目次

1. バーコードプリンタ	1
1-1 箱の中身	1
1-2 プリンタについて知る	2
2. プリンタセットアップ	4
2-1 ラベルのセット	4
2-2 リボンのセット	8
2-3 パソコンと繋ぐ	10
3. 操作パネル	11
3-1 LCD 操作パネル	11
3-2 LCD 操作説明	13
3-3 LAN 設定	18
3-4 LCD パスワード	20
3-5 LCD インターフェース機能	22
3-6 ラベルサイズ測長とセルフテスト	26
3-7 エラーアラート	28
3-8 USB Host	29

著作権

本マニュアルは著作権で保護されており、無断複写・転載を禁止します。

本マニュアルのいかなる部分もフォレストテック株式会社の許可なしで
複写・複製することはできません。

セーフティインストラクション

以下の内容をよく読んでください。

- 湿気のある場所を避けてください。
- 電源を繋ぐときには、規格を確認してください。
- 電源を繋ぐ前にはプリンタのスイッチがOFFになっているかご確認ください。
- 過電圧を避けるためにサージプロテクタ に接続することをお勧め致します。
- 電気ショックを防ぐため、液体をかけないようにお願いします。
- 安全と保証の為、サービスマン以外の方のプリンタの修理等はしないでください。
- いかなる状況下でも、通電している機器を修理または調整しないでください

注意

- ★ バッテリーを正しく交換しないと爆発の危険があります。 製造元が推奨する同等のタイプのみと交換してください。
- ★ 製造元の指示に従って、使用済みバッテリーを処分してください。
- ★ 指定された電源アダプタモデルでのみ使用してください。
- ★ コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

仕様は予告なく変更される場合があります

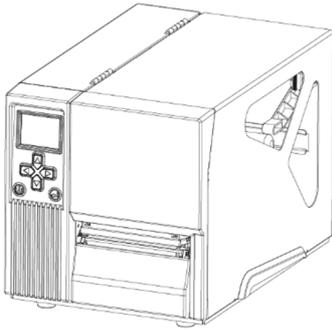
1. バーコードプリンタ

1-1 箱の中身

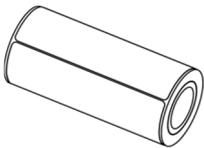
以下の物が入っているかご確認をお願い致します。

★ バーコードプリンタ

BPZ464i BPZ436i



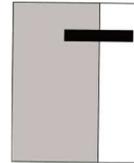
● サンプルラベル



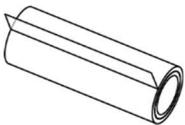
● USB ケーブル



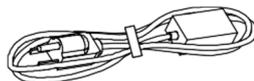
● クイックガイド



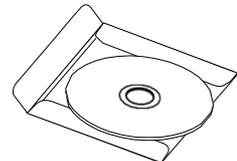
● サンプルリボン



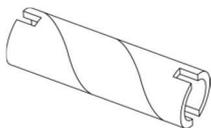
● パワーアダプター パワーコード



● CD (GOLABELソフトウェア マ ニュアル ドライバーなど)

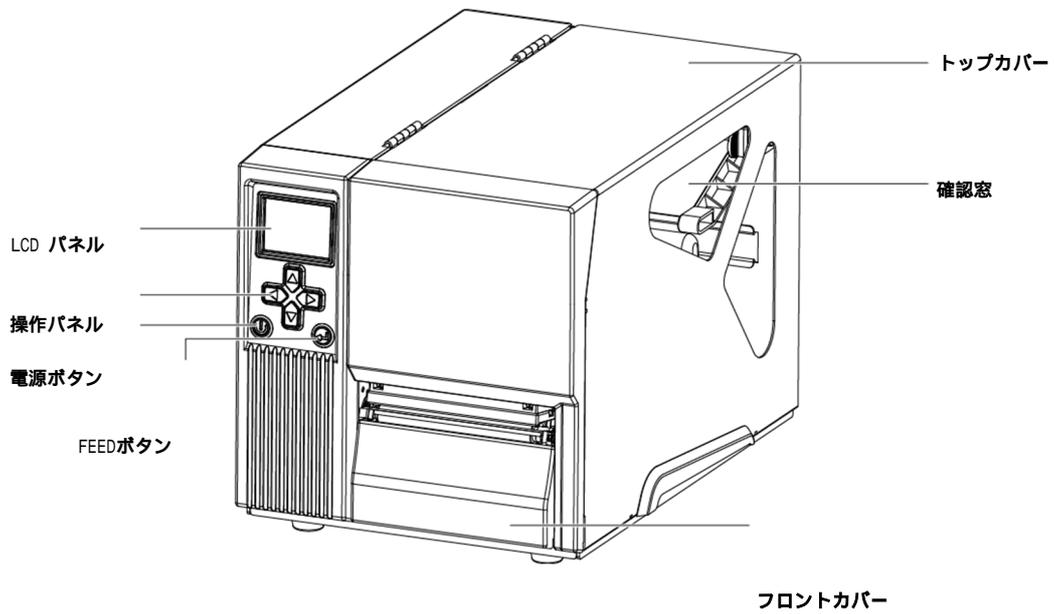


● 空のラベルコア

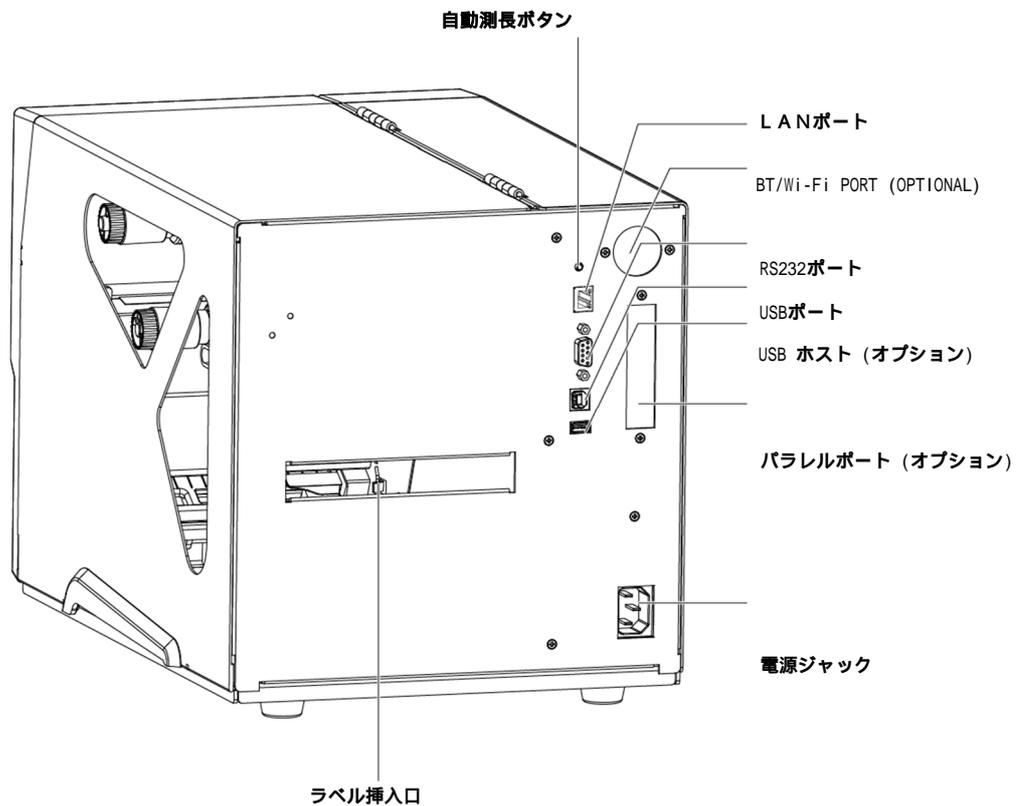


1-2 プリンタについて知る

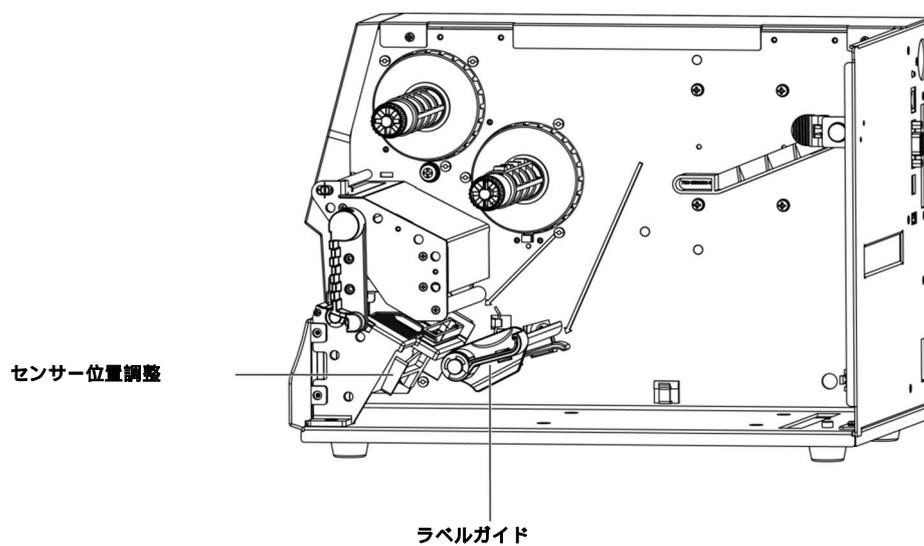
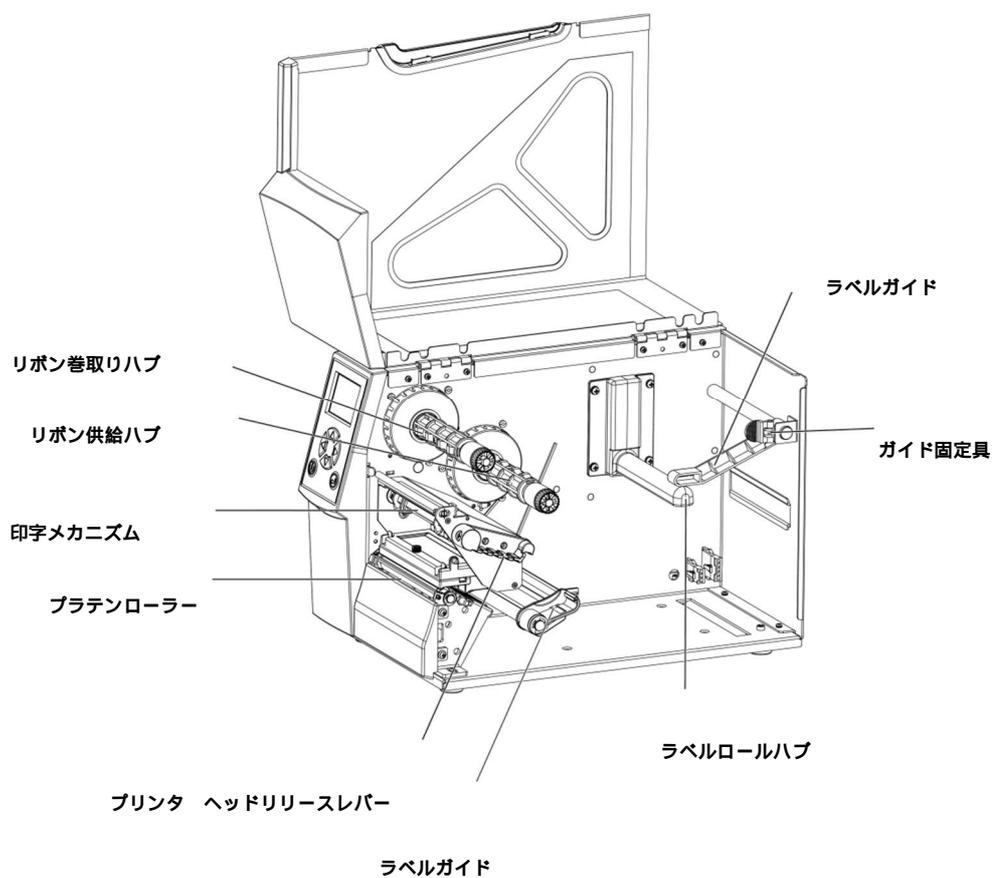
● フロントビュー



● リヤビュー



● カバーを開ける (図は同等機種 of 画像ですが内容は同じです)



2. プリンタ セットアップ

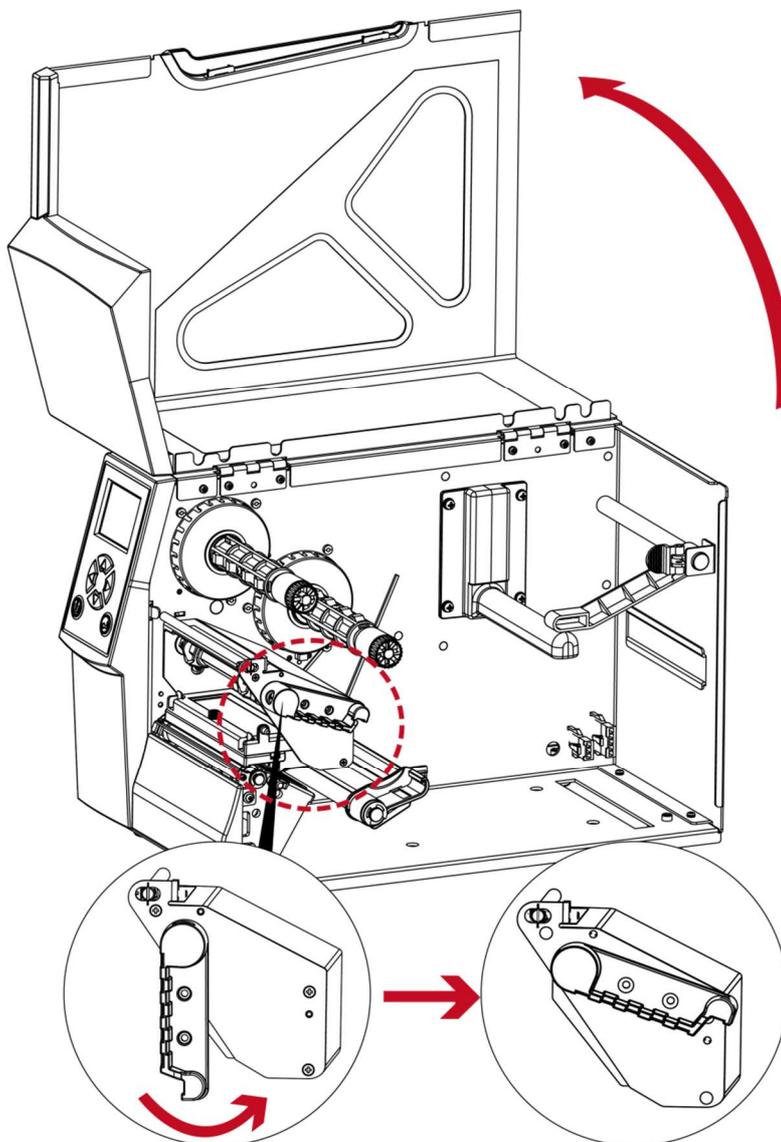
2-1 ラベルのセット

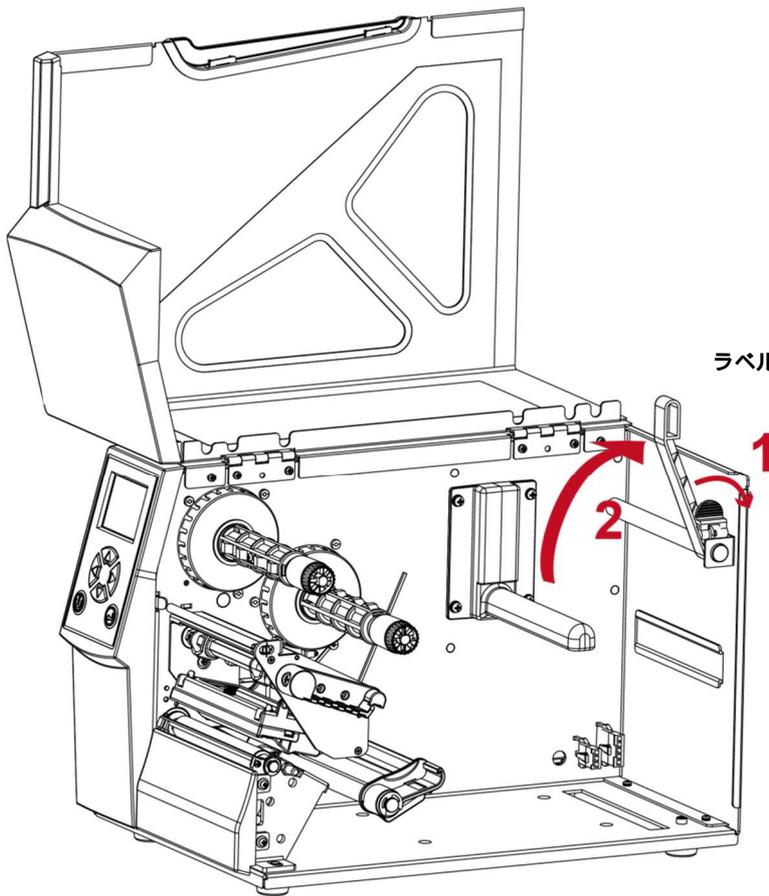
このプリンタは 以下のラベルの印字が可能です。

熱転写印字：リボンが必要です。

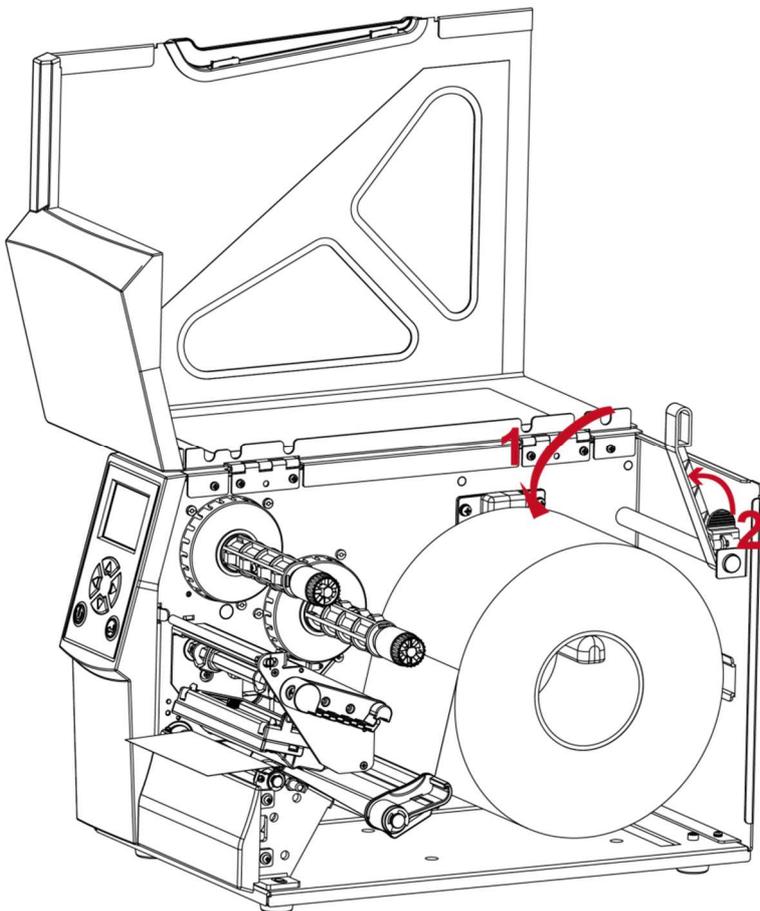
ダイレクト印字：リボンは使わず、感熱紙を使用します。

どちらの印字方法で印字するかプリンタのドライバー（ソフトウェア）の設定をしてください。

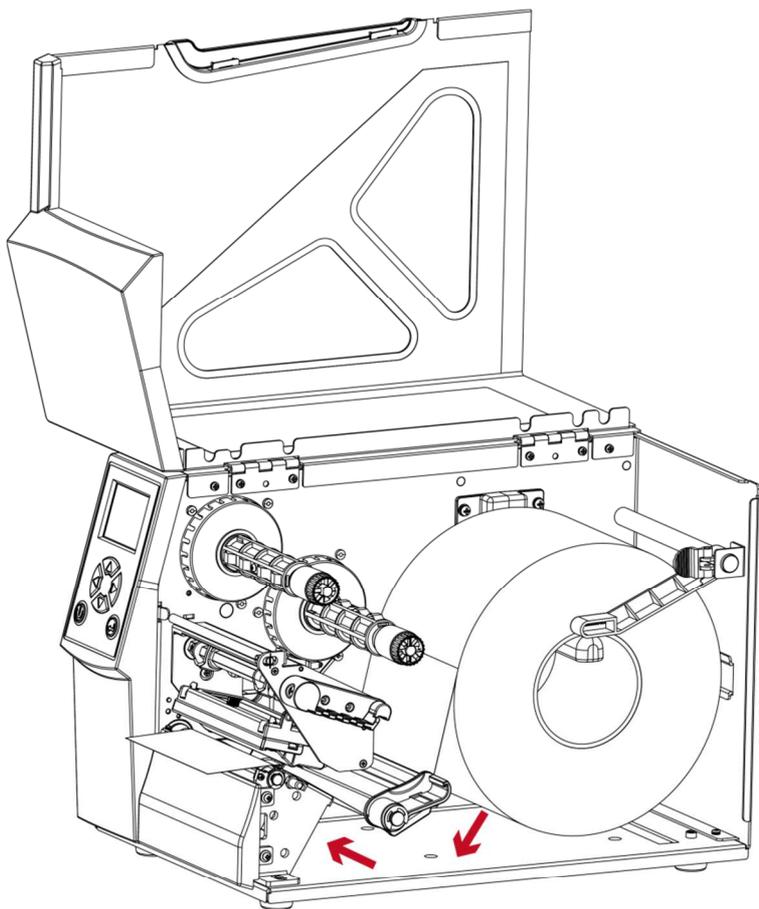




ラベルガイドを上げてください。

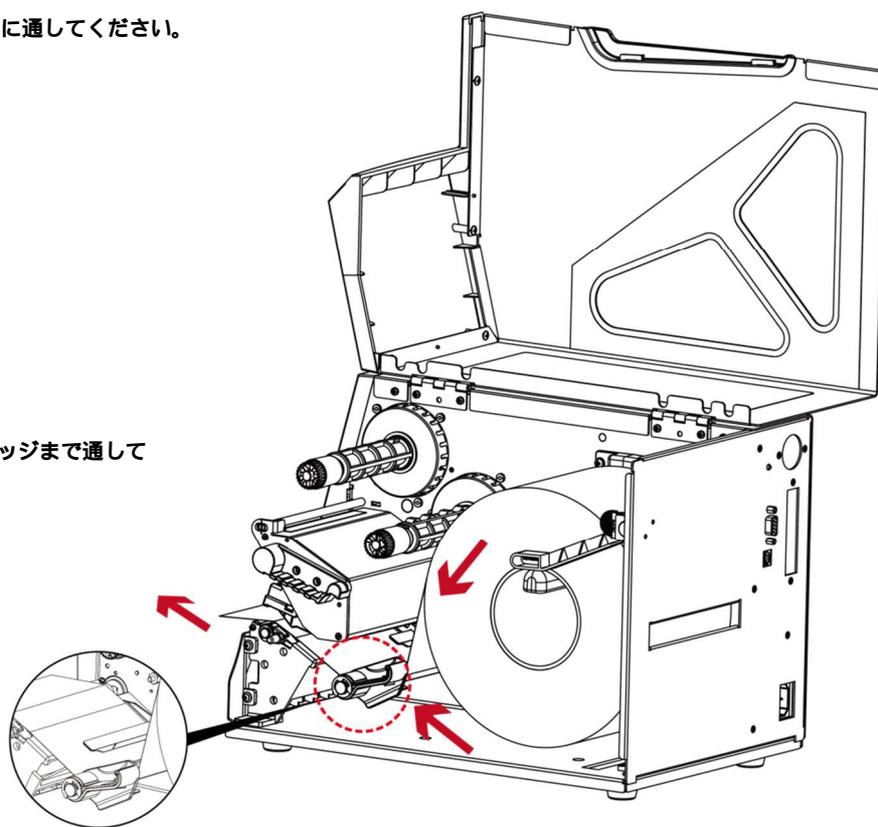


ラベルをラベル供給ハブに載せてガイドを下
し固定する

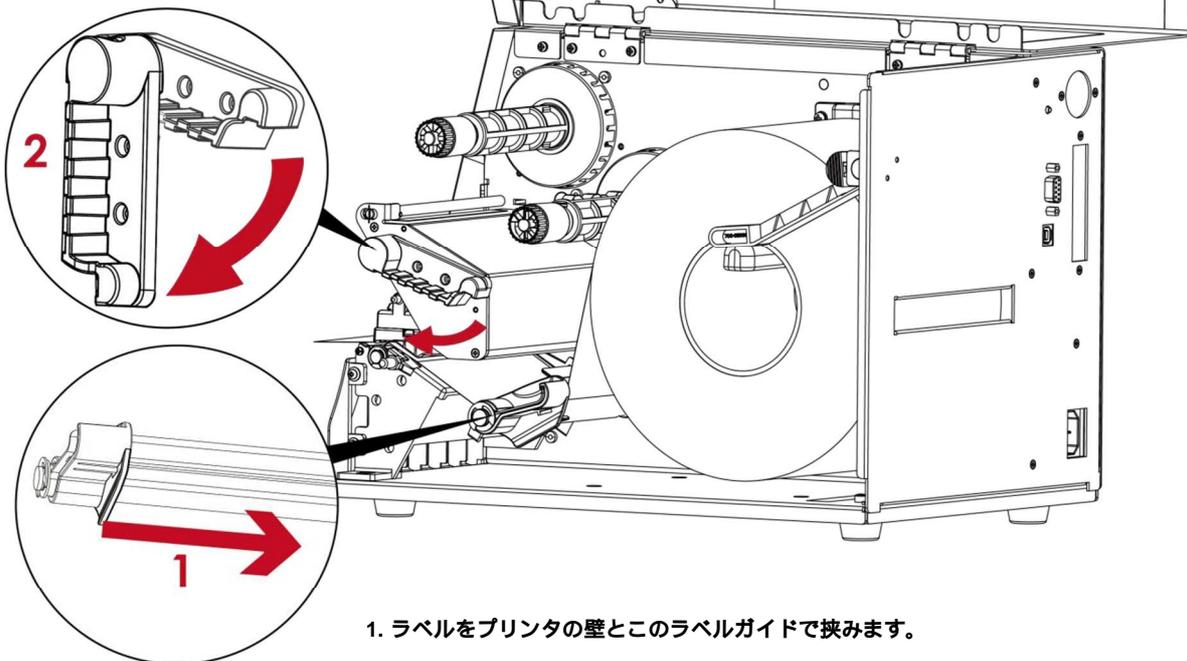


ラベルを赤い矢印の通りに通してください。

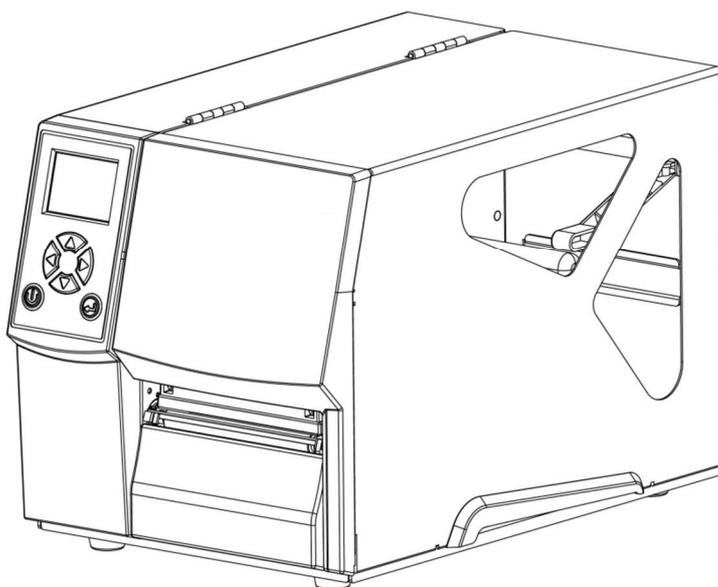
ラベルをセンサーと手切りエッジまで通して
下さい。



2. ヘッドリリースレバーを元の位置に戻します。



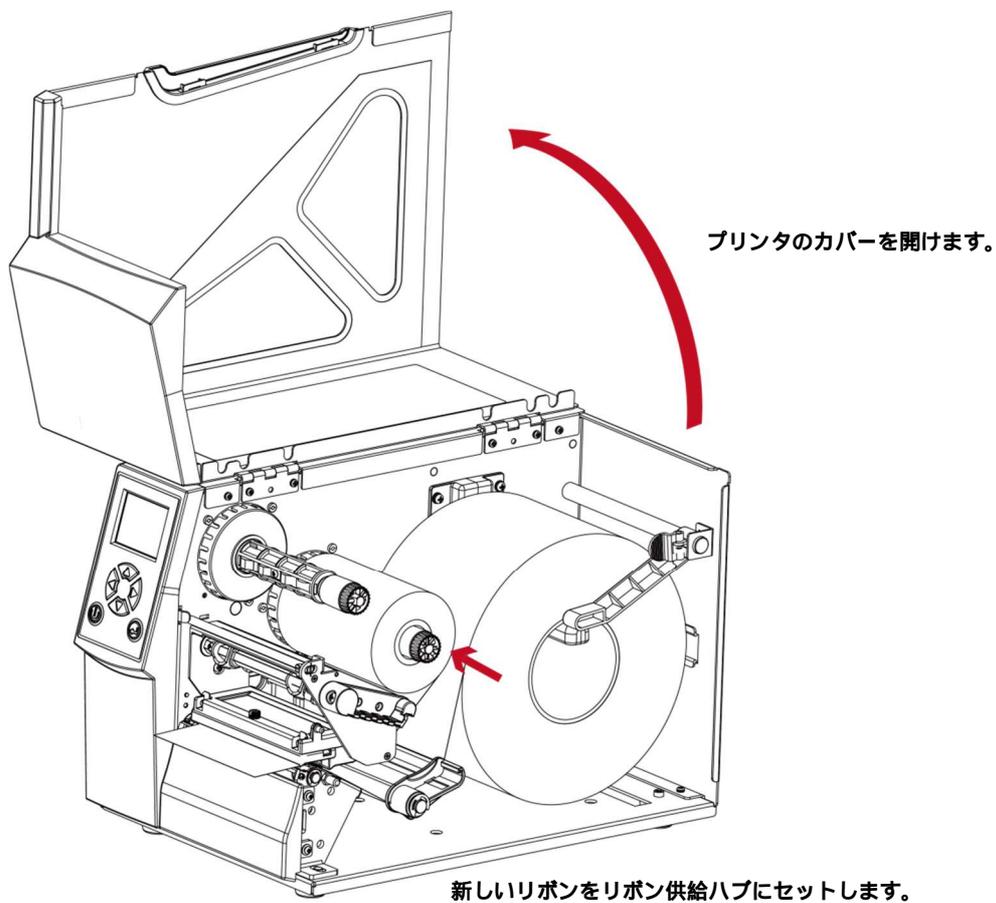
1. ラベルをプリンタの壁とこのラベルガイドで挟みます。



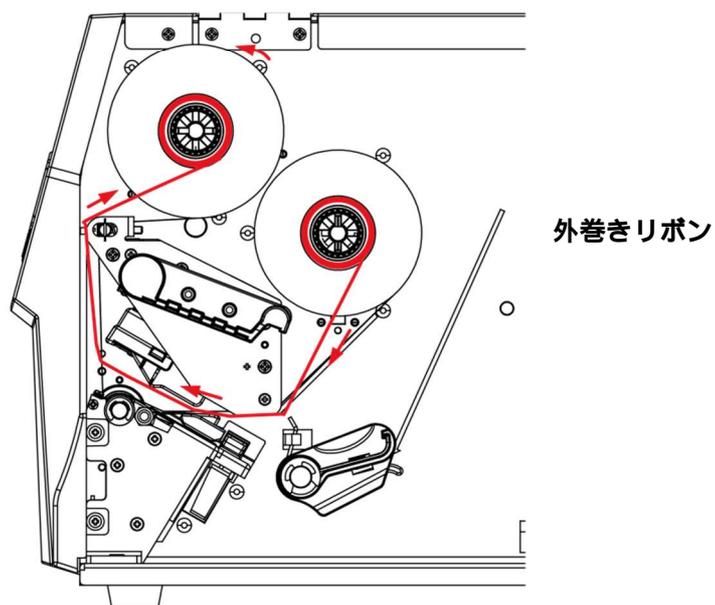
プリンタのカバーを閉じます。

2-2 リボンのセット、取り外しの仕方

➤ リボンのセットの仕方

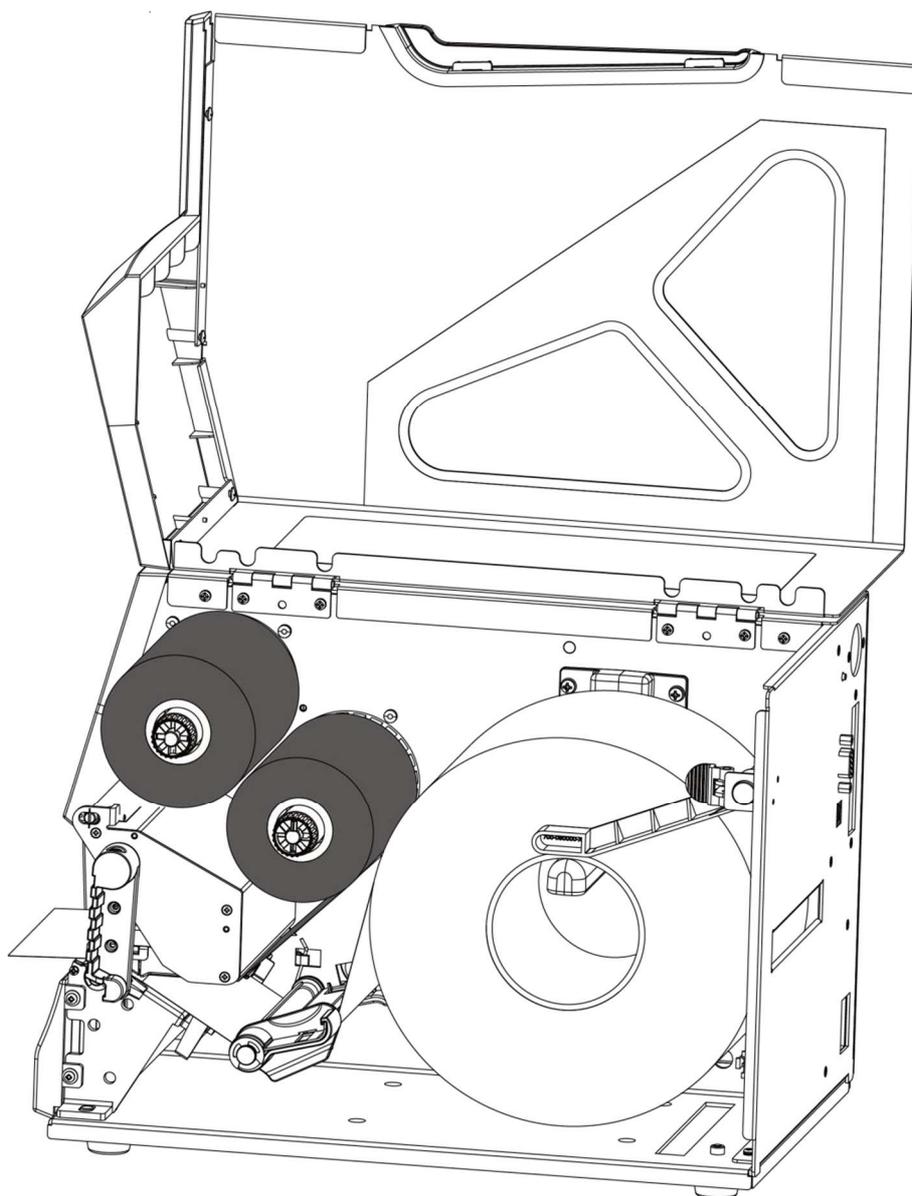


下の図の様にリボンをセットしてください。



リボンをプリンタヘッドの下を通して空リボン巻取りハブにセットして

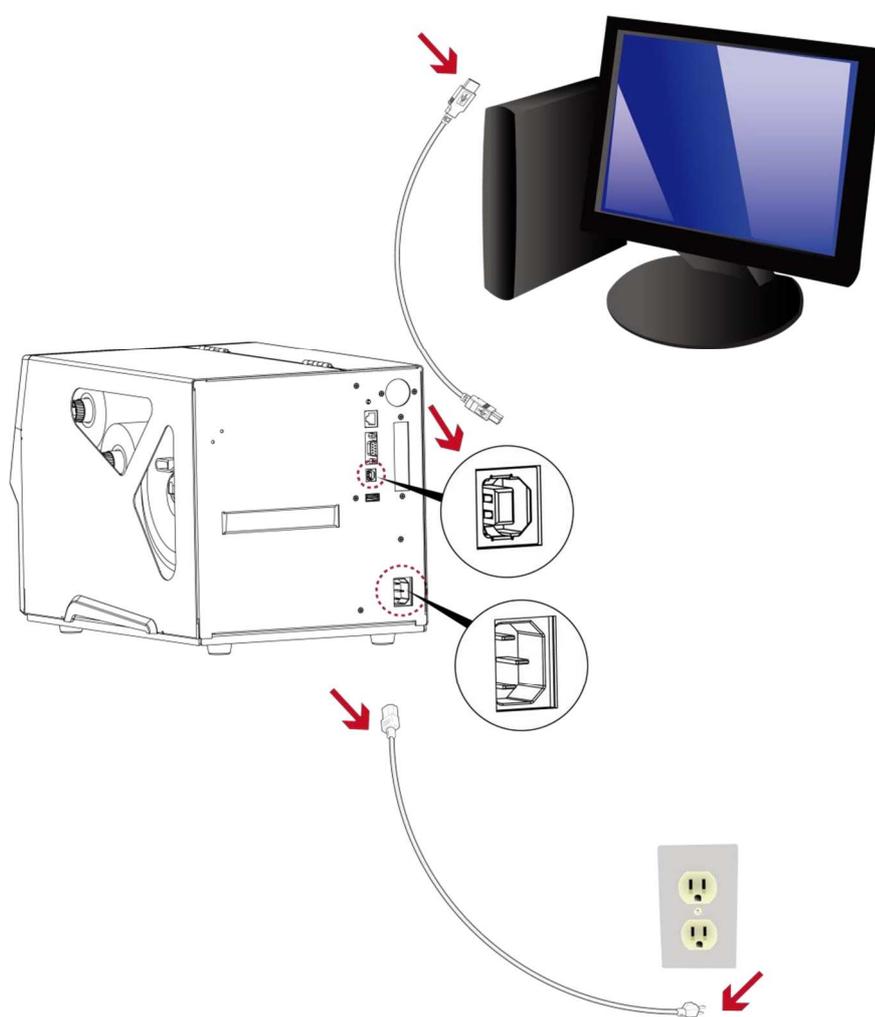
ください。



2-3 プリンタをパソコンに繋ぐ

- プリンタの電源がOFFになっているかご確認ください。
- 電源をプリンタに繋がます。
- USBケーブルをパソコンとプリンタに繋がます。
- プリンタのスイッチを入れます。

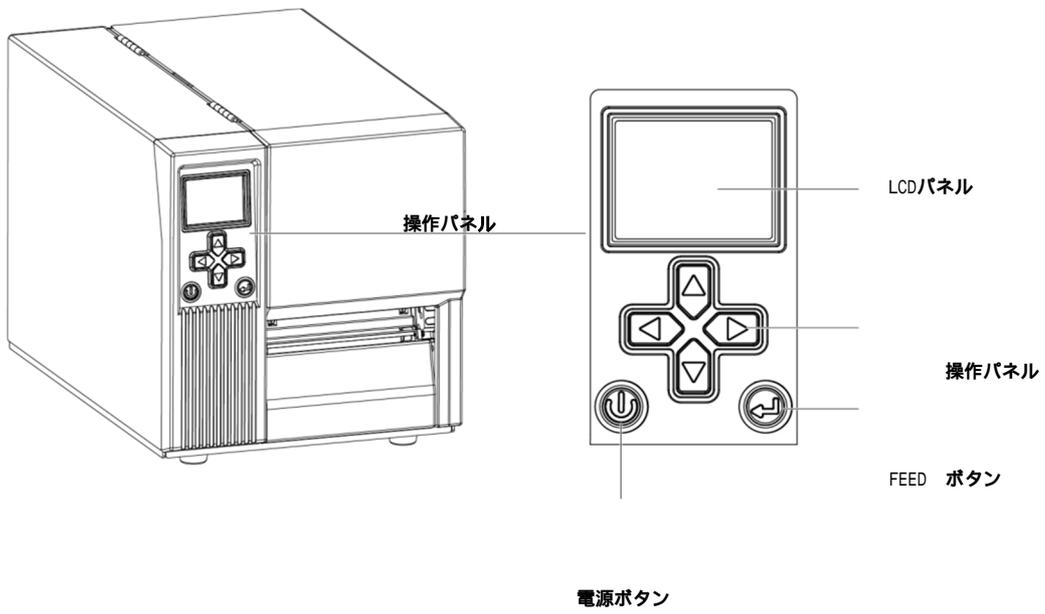
バーコードプリンタ



3. 操作パネル

3-1 LCD 操作パネル

(For BPZ Series)



電源ボタン

電源ボタンを押すと “ ready to print ” ステータスが表示。

その後、LCD に “ READY “ が表示されます。

電源ボタンを3秒押すとプリンタがOFFになります。

FEED ボタン

FEEDボタンを押すとラベルが一枚でます。

ポーズ_FEED ボタン

印刷中にFEEDボタンを押すと、印刷が中断されます。再度FEEDボタンを押すと、印刷を再開します。

例：10ラベル印刷ジョブの実行中に、FEEDボタンを押してプリンターを一時停止します。ラベルが2つ印刷されています。印刷を再開して残りの8枚のラベルを印刷するには、FEEDボタンをもう一度押す必要があります。

プリンタがスタンバイモードのときにFEEDボタンを押すと、プリンタが一時停止モードになります。このモードでは、プリンターはコマンドを受信できますが、スタンバイモードにリセットされたときにのみコマンドを処理します。再度FEEDボタンを押すと、プリンタがスタンバイモードにリセットされます。

キャンセル印字_FEED ボタン

印刷中にFEEDボタンを3秒間押し続けると、印刷ジョブがキャンセルされます。現在の印刷ジョブはキャンセルされます。例：10ラベル印刷ジョブの実行中に、FEEDボタンを押します。ラベルが2つ印刷されています。印刷ジョブはキャンセルされ、残りの8つのラベルは印刷されません

3-2 LCD 操作説明

スタート

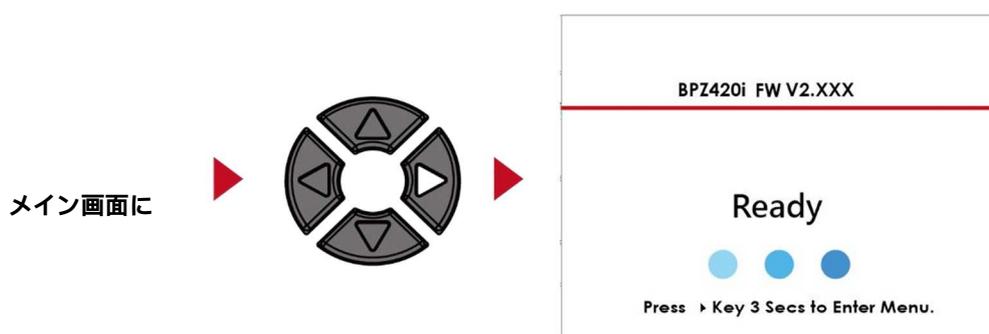
電源ボタンを押します。



プリンタが準備OKの場合は、LCDに“Ready”が表示されます。

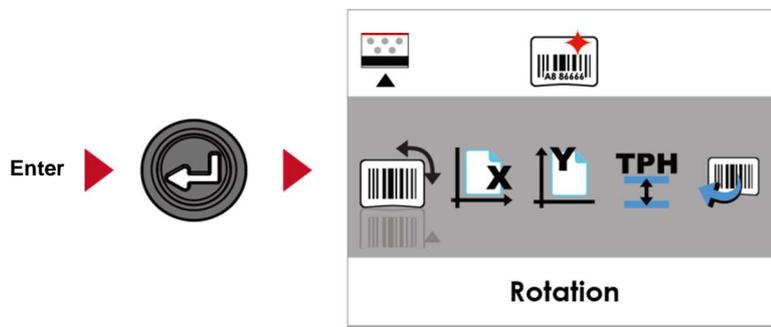
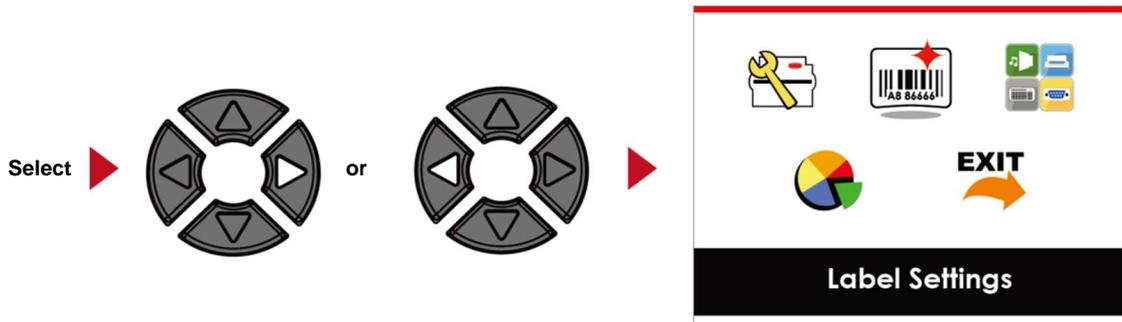


3 秒間右矢印キー ▶ ボタンを押すとメインページにいきます。

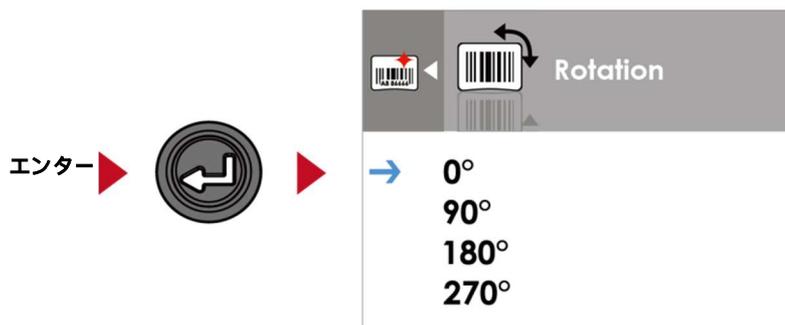
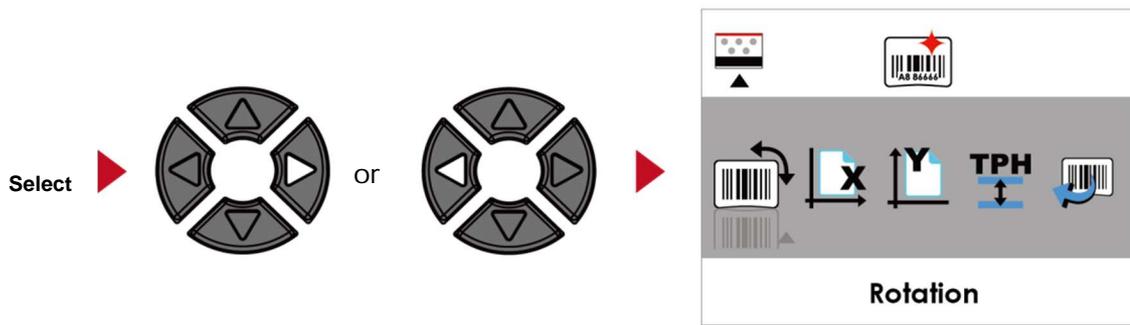


セッティングモードの操作

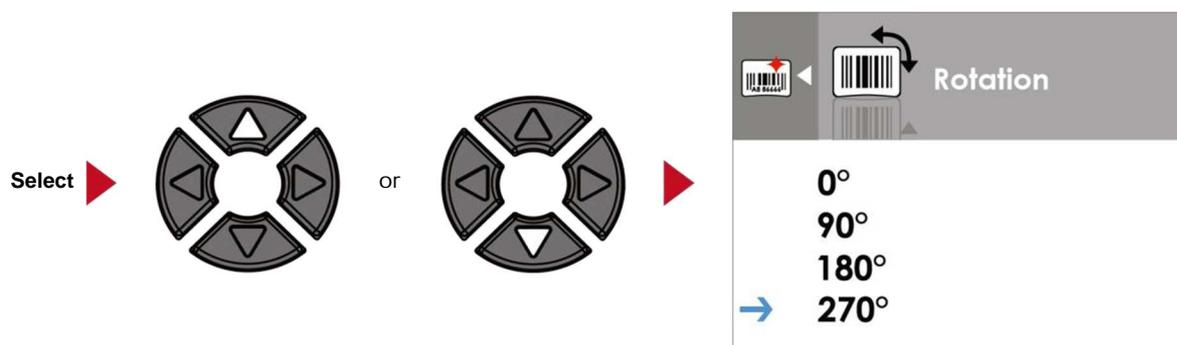
メインページで  or  左右矢印のボタンで機能を選択します。
選択したら **F E E D** ボタンで各機能設定ページにいきます。



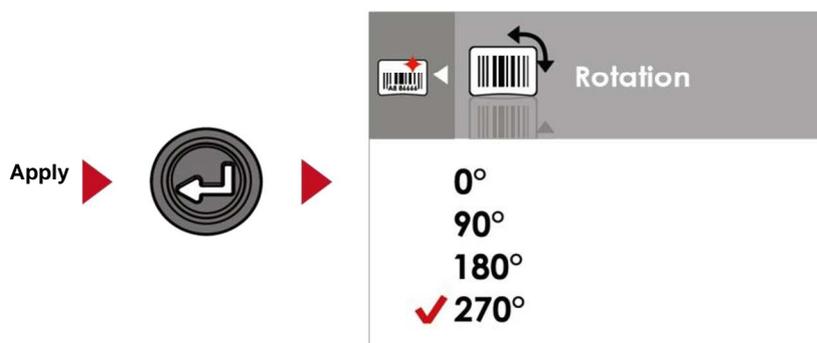
各セッティングページで  or  左右矢印ボタンで項目を選択します。
選択したら **F E E D** ボタンで数値を入れるページに移ります。



数値入力画面では ▲ or ▼ 上下ボタンで値を変更します。



F E E Dボタンで数値を決定すると下図のマークがつきます。



NOTE

* ブルーの矢印は選択中の数値を表します。

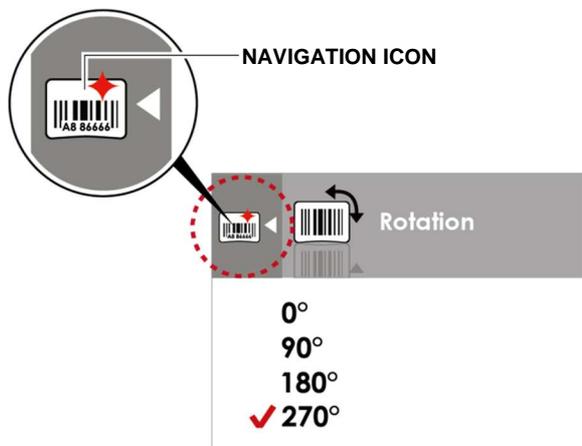


** 赤のマークは決定した値になります。



左上部アイコン

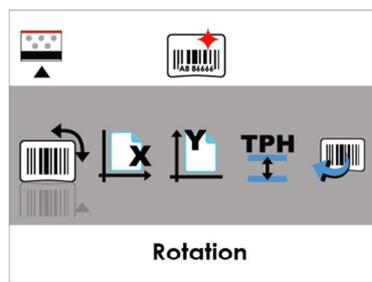
左上隅のアイコンは、上位レベルの画面のキャプチャを表示し、左または上矢印で上位レベルに戻ることができます。



数値入力画面で、

◀ 左矢印ボタンを押すと上位のレベルに戻ります。

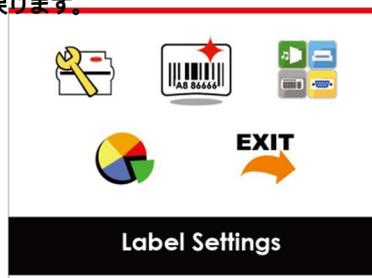
上位レベルに戻る



上記の画面から

▲ ボタンを押すとメインページに戻ります。

メインページに戻る

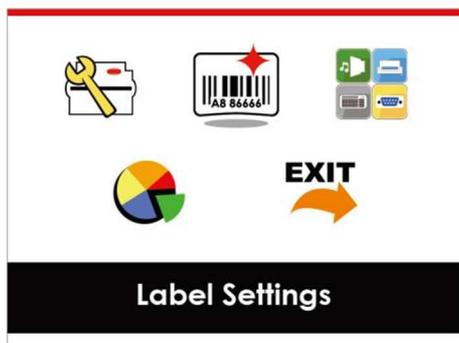
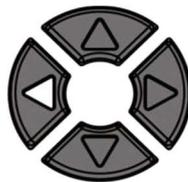


メインページで[EXIT]アイコンを選択し、FEEDボタンを押して設定モードを終了すると、プリンタは“READY”ステータスに戻ります。

EXITアイコンを選択



or



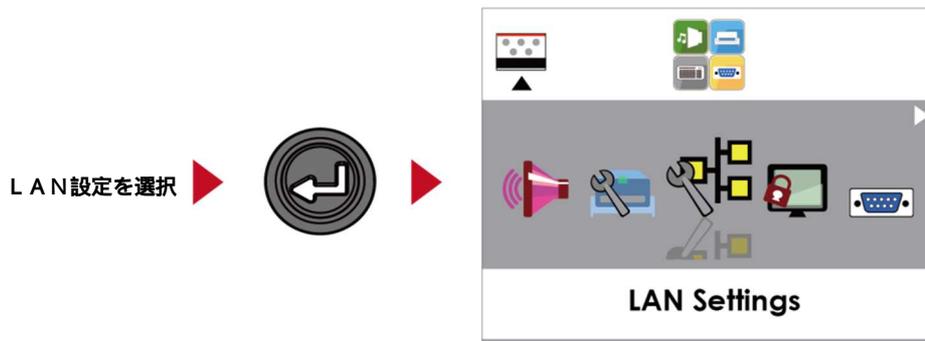
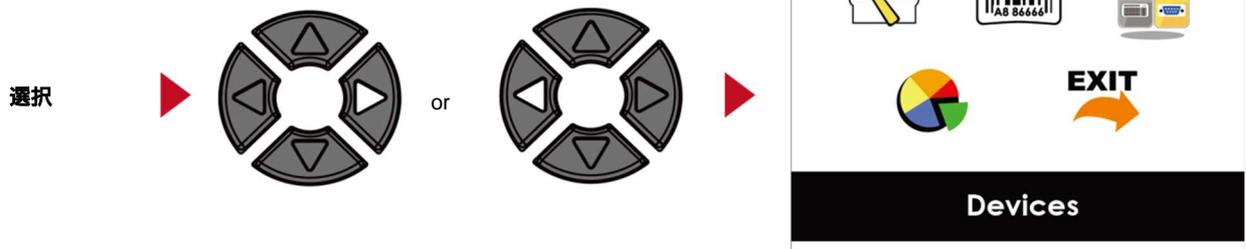
Ready に戻る



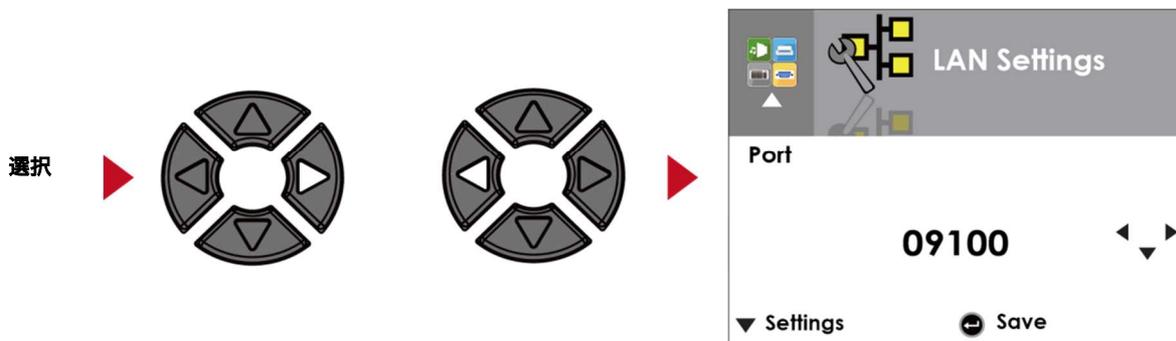
3-3 LAN 設定

Operations on Setting Page

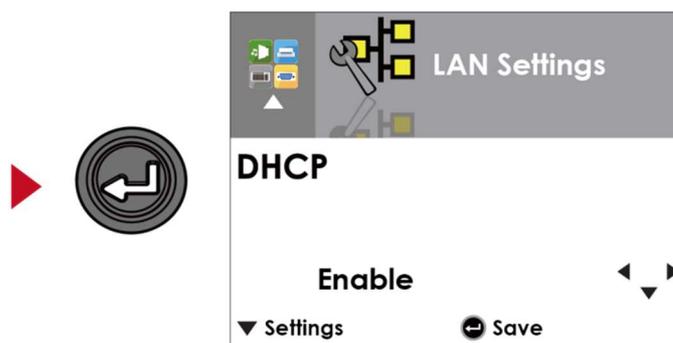
メインページで ◀ or ▶ 左右矢印ボタンで下図のアイコンを選択して F E E D ボタンで
セッティングページに移ります。



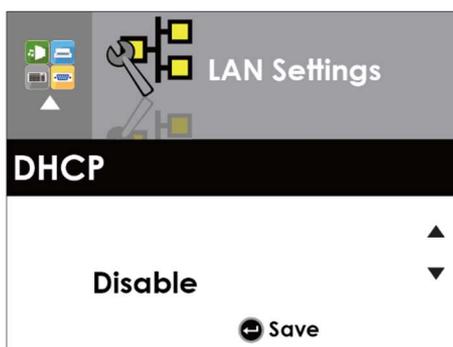
LAN 設定画面で ◀ or ▶ 左右矢印ボタンで選択します。



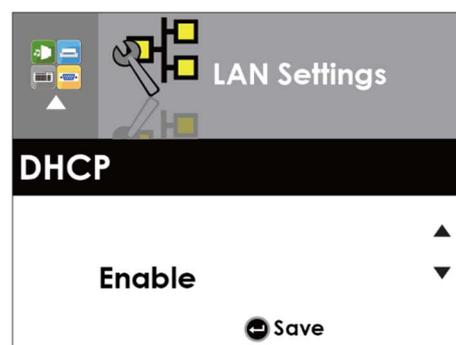
DHCP を選んで F E E D ボタンで DHCP 設定に移ります。



デフォルトでOFFになっています。 ▲ or ▼ 上下ボタンで値を変更します。

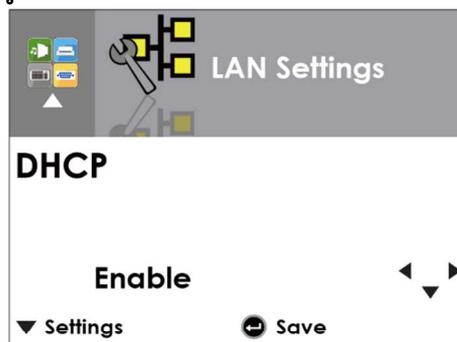


選択t ▼ ボタンでON (Enable)

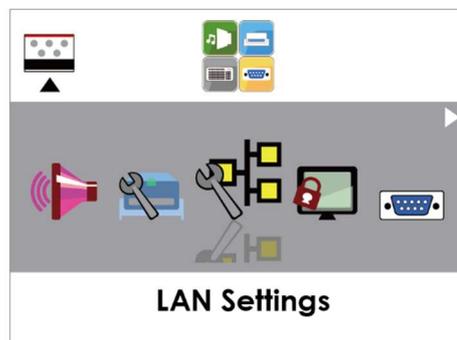


F E E Dボタンを2回押してセーブします。

F E E Dボタン1回でE X I T



もう一度F E E Dを
押して上部の画面に
戻ります。



3-4 LCD パスワード

メインページで ◀ or ▶ 左右の矢印キーで下記の機能を選択し、FEEDキーで設定ページに移動します。

選択



LCDパスワードを選択します。



初期値では無効になっています。

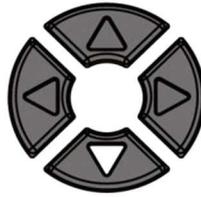
▲ or ▼ 上下ボタンで変更します。



選択 ▼ ボタンで有効に変更します。

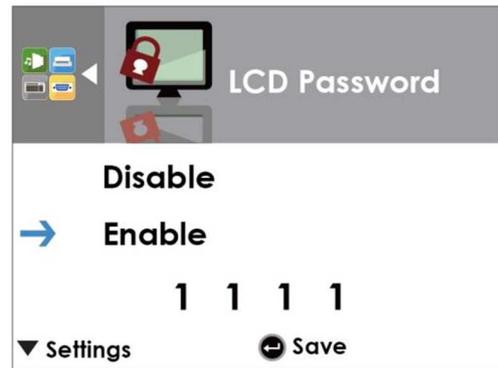


矢印 ▼ ボタンでパスワードを入力します。

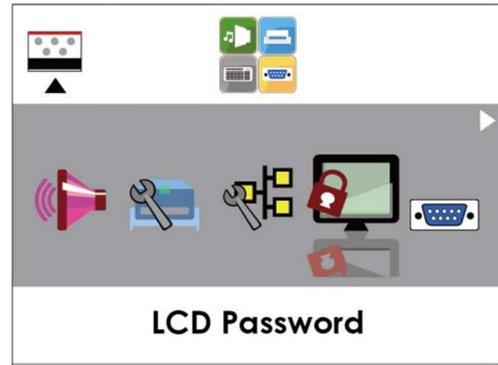


F E E D ボタンを押すと保存されます。

1回 F E E D ボタンを押すと保存し終了します。



もう一度 F E E D ボタンを押すと上位のページに移動します。



3-5 LCD インターフェースファンクション

メインページ



プリン

印字濃度、印字スピード、などのプリンタのセッティングが出来ます。また、印字ウィザードも含まれます。



ラベル

ラベルの回転、印字位置、印字オフセットなどのラベルに関する設定が出来ます。



デバイス

オプションモジュール、接続設定が出来ます。



分析

プリンタヘッドやセルフテストページなど自己診断が出来ます。



終了

セッティングページの終了

Status of LCD Interface

プリンターがスタンバイ状態（印刷準備完了）の場合、LCDインターフェースに「準備完了」と画面に表示されます。この「準備完了」ステータスでのみ印刷できます。 .



プリンターエラーがある場合、LCD画面にエラー画面が表示され、エラーの種類が示されます。通知に従ってエラーを修正できます。



アイコン定義

	上位レベルへ	セッティングページのナビゲーションアイコンに表示されます。 左矢印キーを押すと上のレベルに戻ります。
	上位レベルへ	セッティングページのナビゲーションアイコンに表示されます。 上 キーを押すと上のレベルに戻ります。
	ロック	値の設定ページで、右矢印キーを押して値をロックし、 予期しない変更を防止します。
	ロック解除	ロックされた値の場合、右矢印キーをもう一度押して値をロック解除します
	値をスクロール	値の設定ページで、「上」または「下」キーを押して、 値をスクロールします。



		English	
		Deutsch	
		繁體中文	
		簡体中文	
		Français	
		Español	
		日本語	
		Italiano	
		Русский	
		Türk	
	スピード	2-5 or 7	
	印字濃度	0-19	
ワイザード	メディアタイプ	キャップ付きラベル マーク付きラベル 連続紙	
	印字モード	感熱紙 熱転写	
	手切り位置	0-40	
	印字濃度	0-19	
	印字スピード	2-5 or 7	
		ラベル検知	自動選択 透過型 反射型
センター	メディアタイプ	キャップ付きラベル マーク付きラベル 連続紙	
	印字モード	感熱紙 熱転写	
	手切り位置	0-40	
	フォームのトップ	Apply Cancel	
セッティング		850	
		852	
		437	
		860	
		863	
		865	
		857	
		861	
		862	
		855	
		866	
		737	
		851	
	869		
	Win 1252		
	Win 1250		
	Win 1251		
	Win 1253		
	Win 1254		
	Win 1255		
	Win 1257		
		0°	
回転		90°	
		180°	
		270°	
	水平方向調整	Offset	-100 - 100
	垂直方向調整		-100 - 100
スタート調整		-100 - 100	
リコールラベル		001 Form Name 002 Form Name	





デバイス

フザー	Apply	
	Cancel	
	None	
オプションセッティング	Option	Cutter
		Label Dispenser
		Applicator
	Pre-Printing	Apply
		Cancel
LANセッティング	Part NO.	09100
	DHCP	Disable
		Enable
	Default Gateway	192.168.000.254
	Dynamic IP	192.168.102.076
	Subnet Mask	255.255.255.000
LCDパスワード		Disable
		Enable
シリアルポートセッティング	Baud Rate	4800 bps
		9600 bps
		19200 bps
		38400 bps
		57600 bps
		115200 bps
	Parity	Non
		Odd
		Even
	Data bits	7 bits
8 bits		
Stop bits	1 bits	
	2 bits	
日時設定	Clock Display	Apply
		Cancel
	RTC Setting	YYYY/MM/DD
		HH:MM:SS
Bluetooth Setting	Clear Bind	Enable
		Disable
	Make Device Visible	Enable
		Disable
	SSP	Enable
	Disable	
	PIN Code	0000
	Search Devices	
キャリブレーション	Apply	
	Cancel	
セルフテスト	Apply	
	Cancel	
ヘッド切れテスト	Apply	
	Cancel	
リセット初期値	Apply	
	Cancel	
メモリアクリア	Label Format	Apply
		Cancel
	Graphic	Apply
		Cancel
	Bitmap Fonts	Apply
		Cancel
	True Type Fonts	Apply
		Cancel
Asian Fonts	Apply	
	Cancel	
ALL	Apply	
	Cancel	
終了		



分析



終了

3-6 ラベルサイズ測長とセルフテスト

プリンターは自動的にラベルの高さを検出して保存できます。

これは、ホストコンピュータがラベルの高さをプリンタに送信する必要がないことを意味します。
また、セルフテスト機能により、プリンターが正常に機能しているかどうかを確認できます。
ラベルサイズのキャリブレーションとセルフテストを実行する方法を次に示します。

Step.01ラベル用紙が正しくセットされていることを確認します。

Step.02プリンターの電源を切ります。

Step.03 FEEDボタンを押したまま、プリンターの電源を入れます。

READY LEDが赤く点滅し始め、STATUS LEDがオレンジ色に点灯したら、FEEDボタンを離します。

プリンタはラベル素材を測定し、ラベルの高さを保存します

Step.04プリンターがラベル素材の測定に成功すると、セルフテストラベルが印刷されます。

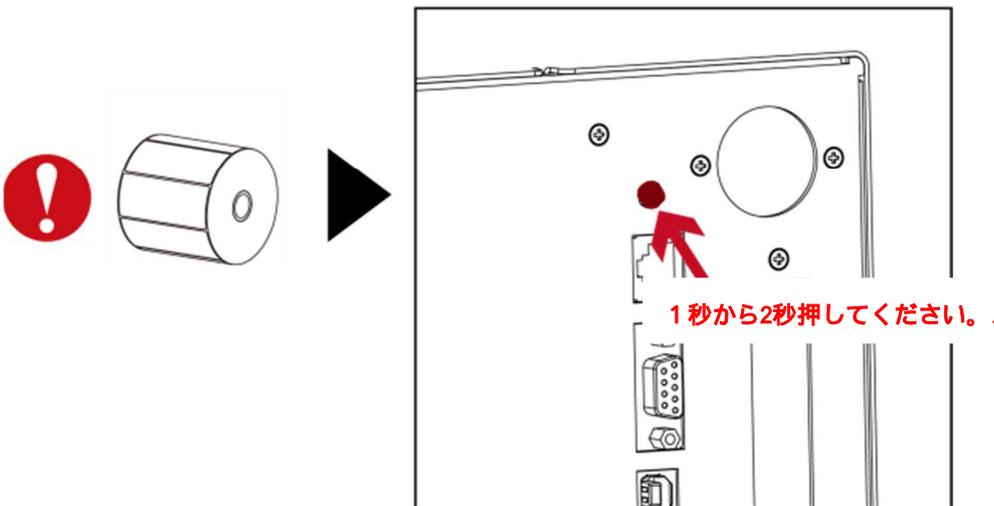
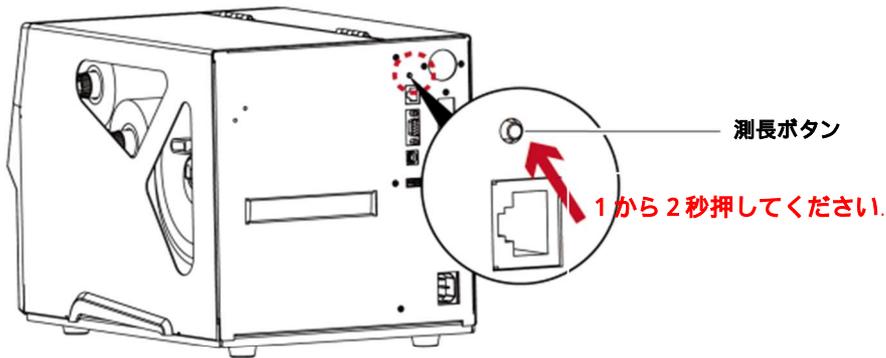
セルフテストプリントアウトの内容を以下に示します。

(以下のデータは参考値であり、実際の結果は状況によって異なる場合があります。)

Model & Version	BPZ420i:Y2.XXX
USB ID setting	
Serial port setting	Serial port:96,N,8,1
MAC address of Ethernet port	MAC Addr:xx-xx-xx-xx-xx-xx
IP protocol setting	DHCP Enable
IP address of Ethernet	IP xxx.xxx.xxx.xxx
Gateway setting	Gateway xxx.xxx.xxx.xxx
Netmask setting	Sub-Mask xxx.xxx.xxx.xxx
Card Status	Card Status:HW Unable to detect any card
Network Status	Network: Cable Not Plug #####
Number of DRAM installed	1 DRAM installed
Image buffer size	Image buffer size:1500 KB
Number of forms	0000 FORM(S) IN MEMORY
Number of graphics	0000 GRAPHIC(S) IN MEMORY
Number of fonts	000 FONT(S) IN MEMORY
Number of Asian fonts	000 ASIAN FONT(S) IN MEMORY
Number of Databases	000 DATABASE(S) IN MEMORY
Number of Scalable fonts	000 TTF(S) IN MEMORY
Free memory size	4073 KB FREE MEMORY
Speed, Density, Ref. Point, Print direction	^S4 ^H8 ^R000 ~R200
Label width, Form length, Stop position	^W102 ^Q100,3 ^E18
Cutter, Label Dispenser, Mode	Option:^AD0 ^AO0 ^AD
Sensor Setting	Reflective AD:1.96 2.84 2.49[0.88_23]
Code Page	Code Page:850

ラベル測長ボタン

ギャップラベルを使用して連続またはブラックマークラベルに変更するなど、初めてプリンターを起動したり、ラベルまたはリボンを別のタイプに変更したりするときに、プリンターが「メディアエラー」に遭遇したときにラベルキャリブレーションを実行するためのハードウェアボタン。

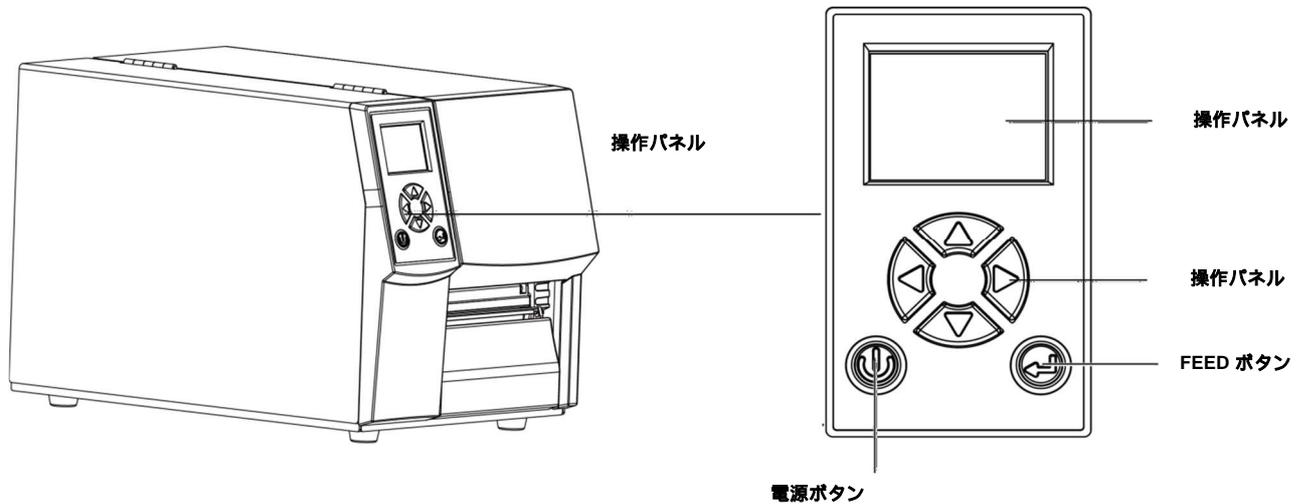


ノート

* Cボタンを押すことは、印刷中のジョブをキャンセルしてラベルキャリブレーションをすぐに行う自動検知コマンド " S、SENSOR 'に相当します。

3-7 エラーアラート

プリンターの正常な機能を妨げる問題が発生した場合、LEDインジケータにエラーメッセージが表示され、ピープ音が聞こえます。エラーアラートについては、以下の表を参照してください。



Operation Panel Status		タイプ	音	内容	解決方法
	FW ver. : Y2.XXX	プリンタヘッドエラー	2 x 4 beeps	ヘッドが開いています	再度ヘッドを開けて閉じ直してください。
	FW ver. : Y2.XXX	ヘッドエラー	None	ヘッドが熱くなっております。	プリンタヘッドを冷ましてください。REDY状態にもどります。
	FW ver. : G4.000	リボンエラー	2 x 3 beeps	リボンがありません リボンが終了しているかリボン供給ハブが動いていません。	プリンターの設定が感熱紙設定になっていないか確認してください。 リボンを再度セットしてください。
	FW ver. : G4.000	ラベルエラー	2 x 2 beeps	ラベルがありません ラベルが終了しています。 プリンタにフィードの問題があります。	センサーの位置を確認してください。センサーが正しく読まれない場合は測長をしてください。 新しいラベルをセットしてください。 プラテンローラーにゴミが付いている可能性があります。センサーが正しく読まれているか再度測長してください。

3-8 USB Host

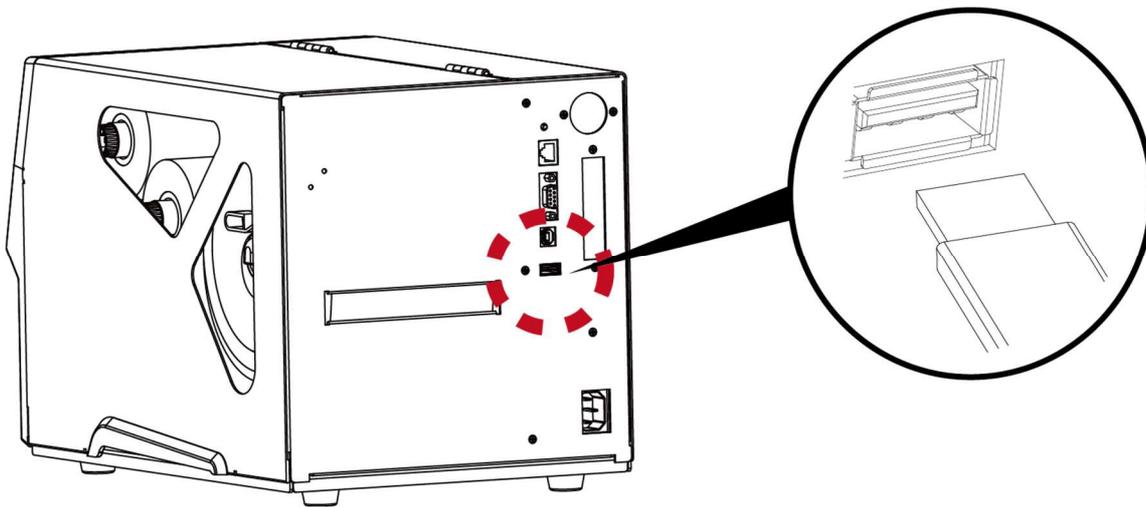
定義：USBホストポートは、USBメモリスティック、キーボード、またはスキャナーのいずれかのデバイスをサポートします。目的：

- USBメモリスティック：グラフィック、フォント、ラベル形式、DBF、コマンドファイルのダウンロード用に、ユーザーメモリ空間を最大32GBまで拡張します。新しいバージョンのファームウェアをUSBメモリスティックにコピーした場合、プリンタのファームウェアも更新される可能性があります。
printer「キーボードモード」モードで操作するためにUSBキーボードをプリンタに接続します。

USB USBスキャナをプラグインして、「キーボードモード」でプリンタを操作します。

拡張メモリの使用

- USBメモリスティック：ホットプラグ機能をサポートします。プリンタは、フォルダ「\LABELDIR」を作成し、ユーザーがUSBメモリスティックをプリンタに接続している間、自動的に「ユーザーフラッシュ」を「拡張メモリ」に切り替えます。
plug USBスティックプラグインプリンタをUSBデバイスまたはイーサネットポートを介してPCに接続し、「GoLabel」ソフトウェアを実行して、グラフィック、フォント、ラベル形式、DBF、およびコマンドファイルをプリンタにダウンロードします。
● ダウンロード手順の詳細については、「GoLabelオンラインヘルプ」を参照してください。



ファームウェアアップデートの使い方

USB USBメモリスティックをプリンタから取り外し、PCのUSBポートに差し込みます。存在する場合は、USBメモリスティックの「\LABELDIR\FW」からファームウェア「*.bin」ファイルを削除します。

または、USBメモリスティックが存在しない場合は、フォルダ「\LABELDIR\FW」を作成します。

Firmwareファームウェア「xxx.bin」の新しいバージョンをフォルダ「\LABELDIR\FW」にコピーします。次に、ファームウェアを更新するプリンターにUSBとプラグインを取り外します。

plugプリンタにプラグインしてプリンタが「\LABELDIR\FW」にあるファームウェアを検出すると、プリンタは自動的にファームウェアを更新します。

updating LCDパネルに表示される「Flash Writing ...」というメッセージが表示されている間は、USBメモリスティックを取り外さないでください。

USBキーボード

USBキーボードをプリンターに接続すると、LCDタッチパネルに「Enter Standalone」と表示され、キーボードの「Y」キーを押して「Keyboard Mode」操作のダイアログに入ります。

ここには6つのサブダイアログがあります。「ラベルの呼び出し」「国コード」「コードページ」「クロック設定」「データベース設定」「ラベル編集」は、次の定義に従ってキーボードで操作できます。

1. 「ESC」キーを押すと、「キーボードモード」から、または前のダイアログに戻ります。
2. 「F1」を押すと、「ホームページ」モードから「キーボードモード」に移行します。
3. 「キーボードモード」のキー入力機能を実行するPCで、通常どおり「Enter」、「矢印」、「アルファベット」キーを押します。

スキャナー

USBスキャナーをプリンターに接続すると、LCDタッチパネルに「Enter Standalone」と表示されます。

「Y」をタップして、「キーボードモード」操作のダイアログに入ります。

スキャナーが「キーボードモード」で「シリアル番号、変数」と印刷枚数をスキャンするために使用している間、プリンターはLCDタッチパネルにメッセージを表示し、データ入力を待ちます。

*プリンターのUSBホストポートには「HUB」機能がありません。

** USBメモリスティックは、「FAT32」ディスクフォーマットと最大32GBのみをサポートします。認定ベンダーは、トランセンド、アベイサー、パトリオット、コンセア、キングストンです。

***グラフィック、フォント、ラベル形式、DBF、コマンドファイルのダウンロード機能は、PCのGoLabelによって操作され、「#」、「x」モデルのプリンター自体を経由する必要があります。

**** PCでは、ユーザーはフォルダ全体の「\LABELDIR」をUSBメモリスティックからPCに、またはその逆にコピーできます。「\LABELDIR」内のサブフォルダまたは個々のファイルをPCにコピーすること、またはその逆はサポートされて